東京都立立川学園　学校通信⑦　令和８年 10 月２日発行

立川だより

東京都立立川学園
校長　　市川　裕二
東京都立川市栄町 1-15-7
電　話　042-523-1358

一人一人が輝ける立川祭に向けて

副校長　香丸　純子

朝夕の風に少しずつ秋の深まりを感じる季節となりました。２学期が始まり早ひと月が過ぎ、子供たちは日々の学習や様々な活動に意欲的に取り組んでいます。１０月２３日・２４日は、学校全体の最も大きな行事である立川祭が開催されますが、現在、各学部では舞台発表やワークショップ、展示作品の発表等に向けて着々と準備を進めています。

立川祭に向けての取組では、当日の発表だけでなく、そこに至るまでの過程を重視しています。友達と相談したり、役割を分担したり、何度も練習を重ねたりする中で、子供たちは互いのよさに気付き、自分の役割を果たすことの大切さを学んでいきます。時には思うように行かないこともあると思いますが、試行錯誤を繰り返しながら、みんなで一つのものをつくり上げていく経験は、子供たちにとって大きな学びとなります。子供一人一人の得意なことや興味・関心、障害の状態などは異なりますが、それぞれが自分らしい方法で力を発揮できることが何より重要です。そして、教職員が子供たちの小さな変化や頑張りを見取り、適切に励まし支えていくことも必要不可欠です。立川祭という一つの行事を通して、学校全体が子供たちの成長を喜び合える機会にしていきたいと思います。

当日は、これまでの学習の成果を発表する子供たちの姿を、ぜひ温かく見守っていただければと思います。緊張しながらも精一杯取り組む姿、友達と協力する姿、最後まで諦めずにやり遂げようとする姿。その一つ一つに、子供たちの成長が表れているのではないでしょうか。立川祭を終えたときに、子供たち一人一人が「頑張ってよかった」「みんなで力を合わせて楽しかった」と感じ、達成感や充足感を味わうことができるよう、教職員一同、子供たちを支えてまいります。

今年度の立川祭のスローガンは
『晴れ渡れ！僕らの笑顔！
～みんなの全てを出し切る立川祭～』です。

ポスターは、タッチ部門高等部専攻科１年生の武井大祐さんがデザインしました。

２４日（一般公開日）は、高等部の生徒が製作した革細工作品やクッキー等の販売もあります。皆様の御来校を心よりお待ちしております！



【生活指導部　年間防災計画】

期　　日	種　　別	内　　容	備　考 ≪担当学部≫
年度当初	●防災体制づくり	災害対策年間計画、非常災害対策組織、災害対策要綱の作成、緊急連絡網の作成、火元責任者確認、避難経路確認、災害時の通勤体制、防災用具（消火器・ヘルメット等）の点検　他	
４／１０（金） １０：３０～１０：４５	●地震避難訓練 〇不審者対応（HRなどで指導）	●地震発生、教室内等での避難	≪※防災主任の学部≫ ≪　聴覚　中　≫
５／２２（金） １０：２５～１０：５０	●火災避難訓練	●火災発生を確認後避難 ●放送による避難場所の指示	≪　聴覚　小　≫ 校舎外避難
６／１６（火） １０：３０～１１：００	●地震火災避難訓練	●地震発生後の火災発生時の避難	≪　聴覚　中　≫ 校舎外避難
７／６（月） １１：１５～１１：４５	●不審者対応訓練	●ロックアウトなどの確認	≪　知的　小　≫
	●中高：セイフティ教室	●スマホ・SNS指導	≪　聴覚　中高≫
７／９（木） １１：１０～１１：２５	●Ｊアラート避難訓練	●Ｊアラート発令、教室内等での避難	≪　聴覚　高　≫
９／８（火）	●総合防災訓練(地震)	●学校からの保護者への引き渡し ●連絡システムによる伝達訓練 ●帰宅報告の確認	≪聴覚　小、 知的　小　≫
１０／１４（水） １０：２０～１０：３５	●地震避難訓練	●地震発生、教室内等での避難	≪　知中　≫
１１／４（水） １０：５０～１１：１５	●火災避難訓練 ●検索訓練	●火災発生を確認後避難 ●放送による避難場所の指示 ●逃げ遅れの探索訓練	≪　知的　小　≫ 校舎外避難
１２／７（月） １１：３０～１１：４５	●地震避難訓練	●緊急地震放送発令を想定し、教室内等で避難	≪　聴覚　高　≫
１／１４（木） １０：５０～１１：１５	●火災避難訓練	●火災発生を確認後避難 ●放送による避難場所の指示	≪　知的　中　≫ 校舎外避難
２／２（火） １１：１０～１１：２５	●地震避難訓練 ●防災に関する講演会 （聴覚　中高・知中）	●地震発生、教室内等での避難 ●防災に関する講演会	≪　聴覚　小　≫ ≪　聴覚　中高 ・知中　≫
３／１（月） １０：３０～１０：４５	●地震避難訓練	●地震発生、教室内等での避難	≪　聴覚　高　≫

【生活指導部　避難訓練・総合防災訓練等の取り組み】

総合防災訓練を実施しました

９月８日（火）、本校では首都直下地震の発生を想定した総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、地震発生後に公共交通機関が復旧したという想定のもと、連絡システムを活用した保護者への情報伝達、幼児・児童・生徒の引き渡し訓練、自主下校後の帰宅確認などを行いました。保護者の皆様には、緊急引き渡しカードを用いた引き渡しや帰宅連絡への御協力をいただき、実際の災害時に備えた確認を行うことができました。

また、聴覚障害教育部門中学部 1 年生と知的障害教育部門中学部 1 年生は、東京消防庁立川消防署や立川市の御協力のもと、防災学習を実施しました。起震車による地震体験、消火器の使用体験、煙体験ハウスの体験に加え、非常食の調理・喫食体験を通して、災害時に必要な知識や行動について学ぶことができました。

訓練を通して、幼児・児童・生徒一人一人が防災への意識を高めるとともに、教職員にとっても安全な避難生活や引き渡しに向けた連携体制を確認する機会となりました。本校では今後も、防災教育や防災訓練を継続し、災害時に適切な行動がとれるよう取り組んでまいります。

保護者の皆様には、訓練への御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。










【教育支援部　特別支援コーディネーターの取り組み】

特別支援学校は、地域における特別支援教育の推進を目指し、地域の「特別支援教育のセンター」としての役割を担っています。具体的には、小・中学校等の先生方への支援、特別支援教育に関する相談・情報提供、福祉、医療、労働などの関係機関等との連絡・調整などを行っています。本校においては、両部門にそれぞれ「特別支援教育コーディネーター」がおり、タッチ部門は主に西多摩地域において、やーえ部門は「立川市」においてセンター的機能を発揮しています。今回は、それぞれの取り組みを紹介します。

【タッチ部門】

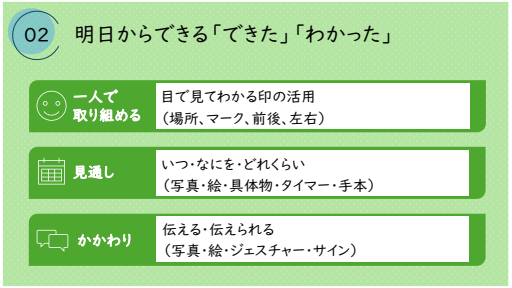


教育支援部と自立活動担当者が連携を図りながら、聴覚特別支援学校のセンター的機能として、都内在住の特別支援学校や特別支援学級、私立や公立の学校などに在籍する聴覚障害のある児童・生徒を対象として、「きこえとことばの教育的支援」を行っています。夏休み期間を中心に 25 名の方に支援を行いました。聴覚の管理や在籍校との連携を通して児童・生徒のきこえの環境を整え、円滑な生活が送れることを目的に、補聴機器の使用や環境整備について疑問に思っていること、聴覚に関する支援方法についてなど個々のケースに応じて地域の学校と連携を図りながら進めています。それぞれの在籍校の担任の先生方も一緒に来校されるケースも多く、一緒に聴力測定室に入ってきこえの様子を見ていただいたりもします。地域の学校のコーディネーターと連携を図りながら進めています。必要に応じて巡回相談等も行っています。

また、近隣の難聴学級の先生方と共に、聴覚障害のある児童・生徒に対する支援方法に関する勉強会を月に１度のペースで実施しています。

【やーえ部門】

９月 11 日、立川市の保育園職員の方々30 名ほどが本校に来校され、学校見学を含む研修会を開催しました。「教室の様子は？」「どんな勉強をしているの？」「どのような支援があるの？」など、様々な関心をもって参加されていました。「子供たちが学んでいる様子を見たい」というお声もいただきましたが、保育士の皆さんのお仕事の都合もあり、児童・生徒の下校後の実施となりました。教室の様子や、視覚支援ツール、コミュニケーションツール、学習教材など、熱心に見学をされていました。図書コーナーのディスプレイを見て「子供たちが手にとりやすいですね、園でも取り入れてみます」と話されている方もいらっしゃいました。後半は、「明日からできる【できた】【わかった】」をテーマに、特別支援学校での指導の工夫について紹介しました（右：研修会資料）。



このような取り組みをきっかけに、地域の子供たちの生活や、支援者の方々との関わりがより豊かに広がっていくことを目指して、地域の方々の見学や研修など引き続き協力していきたいと思います。